

募集要項

◆対 象

令和6年7月から令和7年6月末日までに刊行された奥付のある詩集。
ただし、翻訳・アンソロジー・復刻及び遺稿詩集等は除く。

◆応募方法

便箋等に、郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号を明記の上、詩集(奥付に発行日が印刷されて出版されたもの)2冊を下記へお送り下さい。詩集名、氏名にはふりがなを付けてください。
*応募された詩集は返却いたしません。
*ペンネームにより出版された詩集で応募される場合は、本名と共にペンネーム(ふりがな)を併記してください。

◆応募先

〒659-8501
芦屋市精道町7-6
芦屋市国際文化推進課 富田碎花賞担当

◆賞・賞金

正賞 賞状・副賞 30万円

◆応募期間

令和7年5月7日(水)～同年7月31日(木)必着

◆選考委員

河津 聖恵・季村 敏夫・たかとう 匡子
(五十音順)

◆発 表

令和7年10月中旬(予定)

◆贈 呈 式

令和7年11月20日(木)
芦屋市立美術博物館

雲を見よ、
風を見よ、
その行く方は
ほしいまなり
『嗟嘆』より

芦屋市は、平成2年に詩人富田碎花生誕100年を記念するとともに、富田碎花の多彩な業績を顕彰するため、「富田碎花賞」を創設しました。
これまで富田碎花顕彰会をはじめ、多くの方々の御協力により、全国から多数の応募をいただき、この賞にふさわしい作品を決定することができました。
この賞が、日本の詩の発展の一助となり、市民文化の振興に寄与することを願います。

富田碎花プロフィール

明治23年(1890)11月15日、岩手県盛岡市に生まれる。本名戒治郎。18歳で与謝野鉄幹・晶子主宰の新詩社に参加。筆名碎花で『明星』に短歌を発表した。石川啄木に思想的な影響を受け、明治45年(1912)5月、啄木の死を悼み、『曠野』に「民衆の中に行く」「Going to people」というエッセイを発表している。

歌集『悲しき愛』を大正元年(1912)に出版。その後からカーペンター、トロウベル、ホイットマンを日本に紹介。訳詩集カーペンター『民主主義の方へ』(大正5年)、訳詩集ホイットマン『草の葉』(大正8年)等を出版した。

福田正夫・白鳥省吾・百田宗治らと共に民衆詩派の詩人と目される。民衆詩派は、ホイットマンのデモクラシー精神を受け、平明な言葉で市井人・農民等を取りあげて、従来 of 詩の領域をひろげた。富田碎花の詩はストイックな求道者の趣があり、表現は精緻である。

大正のはじめ、病氣治療のため芦屋へ転地。田嶋マチを知り、大正9年(1920)に結婚。のちに谷崎潤一郎住居のあとに入居し、以後芦屋に定住した。詩作のかたわら全国各地を旅し、また多くの校歌・市町歌を作詞した。その多彩な業績から、“兵庫県文化の父”ともよばれた。昭和23年(1948)第1回兵庫県文化賞を受賞。

著作は上記のほか、『末日頌』(大正4年)『地の子』(大正8年)、『登高行』(大正13年)、『歌風土記兵庫縣』(昭和25年)、『ひこばえのうた』(昭和45年)、『兵庫讃歌』(昭和46年)等がある。

昭和59年(1984)10月17日93歳で長逝後、すべての蔵著・遺品類が芦屋市に寄贈されたのを機に「富田碎花顕彰会」が発足した。

富田碎花賞受賞作品一覧

※第1回（平成2年）から第23回（平成24年）までの受賞詩集の掲載を省略しております。

●第24回（平成25年）

『海町』 岩佐なを氏（東京都）
『オルガン』 江口節氏（兵庫県）

●第25回（平成26年）

『フラクタルな回転運動と彼の信念』尾世川正明氏（千葉県）

●第26回（平成27年）

『地球にカットバン』 宮内憲夫氏（京都府）

●第27回（平成28年）

『宙吊り』 井上嘉明氏（鳥取県）

●第28回（平成29年）

『青山記』 神原芳之氏（東京都）

●第29回（平成30年）

『夜明けをぜんぶ知っているよ』北川朱実氏（三重県）

●第30回（令和元年）

『半結晶質群』 田中武氏（新潟県）

●第31回（令和2年）

『ひの石まつり』 金堀則夫氏（大阪府）

●第32回（令和3年）

『Bridge』 北爪満喜氏（東京都）

●第33回（令和4年）

『小松川叙景』 小林埧嶋氏（東京都）

●第34回（令和5年）

『パラレルワールドのようなもの』文月悠光氏（埼玉県）

●第35回（令和6年）

『廃屋の月』 野木京子氏（神奈川県）

第36回 富田碎花賞 募集要項



主 催： 芦屋市・芦屋市教育委員会
協 力： 富田碎花顕彰会
後 援： 兵庫県・兵庫県教育委員会
神戸新聞社

※富田碎花賞受賞詩集については、期間に関わりなく同旧居において展示します。

※応募されたすべての詩集は、富田碎花旧居において1年間展示します。



富田碎花旧居

◆所在地 芦屋市宮川町4番12号

◆利用案内 開館日 日曜日・水曜日
開館時間 10:00～16:00
(入館は15:00まで)
入館料 無料
休 館 8/13～8/19、
年末年始(12/29～1/3)

◆問合わせ 芦屋市国際文化推進課
☎0797-38-2115

◆富田碎花旧居の展示室で碎花に関する展示を行っています。
(毎年4月及び10月展示内容を変更)